

**【暮らす】施策の柱27**

①予算事業名	地域活動支援センター業務委託	予算科目	3-1-3-6			基本構想上の位置づけ 上段:「島づくり目標」 下段:「施策の柱」	共に暮らせる島づくり
②担当部課名	福祉課	事業実施 (予定)年度	H30~H32			基本計画の該当箇所	福祉の充実 施策の柱27-2
③事業内容	集団生活をする中で、共同作業等の就労を通して社会的孤立感の解消・心身機能の維持向上・生き生きとした生活づくりをすることを目的とした事業に取り組む。 ひきこもりや生活支援者(障害手帳保持者)を1人でも多く地域活動支援センターへ通所させ障害者の行き場づくり、就労支援を通して事業者への障害に対する理解をしてもらう。 以下の2事業の補助も含む。 リサイクル工賃(地活利用者のリサイクル就労に対する工賃) 就労支援工賃(生活困窮者かつ障がいのある方々の就労支援)						
④実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
⑤事業費 【単位:円】		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	
	財源内訳	(a)国庫	1,500,000	1,500,000	1,501,000	1,501,000	1,501,000
		(b)県費	750,000	750,000	751,000	751,000	751,000
		(c)地方債等					
		(d)一般財源	5,153,000	5,143,000	6,784,000	6,784,000	6,784,000
	計(a~d)	7,403,000	7,393,000	9,036,000	9,036,000	9,036,000	
	特定財源名	(a)または(b)の名称	地域生活支援事業		(c)の名称		
⑥事業計画	年度	実施する具体的な事業の内容					
	平成30年度	地域生活支援センター ①利用者の送迎 ②日中を「さくら」で過ごすことで基本的な生活習慣を身に付けてもらう ③日誌をつけ、報告 リサイクル・就労工賃 ①月報告を行う。					
	平成31年度	地域生活支援センター ①利用者の送迎 ②日中を「さくら」で過ごすことで基本的な生活習慣を身に付けてもらう ③日誌をつけ、報告 リサイクル・就労工賃 ①月報告を行う。					
	平成32年度	地域生活支援センター ①利用者の送迎 ②日中を「さくら」で過ごすことで基本的な生活習慣を身に付けてもらう ③日誌をつけ、報告 リサイクル・就労工賃 ①月報告を行う。					
⑦成果目標 (指標) 及び進捗状況	成果目標(指標)		基準値 (29年度)	30年度	31年度	32年度	目標値 (37年度)
	登録者が毎日通所する	目標	( / )	( 8割通所 )	( 8割通所 )	( 8割通所 )	( / )
		実績		6割通所			
	リサイクル・就労工賃支援の月報告	目標	( / )	( 毎月提出 )	( 毎月提出 )	( 毎月提出 )	( / )
実績			毎月提出				
事業 成果 効果 等	・国は障がいの地域移行を促進しているが、島外から戻ってくる人達の受け皿(福祉サービスや施設)が久米島にはない。その為、地活で一旦ワンクッション置き、健全な日常生活を送る事で、周囲の人間関係、コミュニケーション方法などを学び、地域の方々ともうまく付き合っていけるようになった方がいる。 ・重度から軽度まで、様々な障がいのある方々がいる為、お互いを支え合う中で学び、表情や行動が良い方に変化した方々がいる。 ・島内にいるひきこもりの方、社会から隔離されていた方が、通所によって、生き生きとした表情を取り戻し、就労に結びついた方がいる。等 →久米島の地活は、他市町村の障害者施設や福祉サービスで賄っている内容をカバーしている。						
⑧写真及び図面	-						